

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
福井県大野市	福井県大野市	平成22年4月1日～平成27年3月31日	平成22年度～平成26年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指標	現状 (平成 年度)	目標 (平成 年度) A	実績 (平成 年度) B	実績B /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	家庭系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
再生利用量	合計 事業系家庭系総排出量合計	t	t	%
熱回収量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
減量化量	熱回収量 (年間の発電力量)	MWh	MWh	
	中間処理による減量化量	t	t	%
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成27年度) A	実 績 (平成27年度) B	実績B /目標A
総人口	37,480	34,500	34,626	—
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 7,134 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 19.0%	6,933 20.1%	6,914 20.0%	99.7% 99.5%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 8,382 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 22.4%	7,713 22.4%	5,024 14.5%	65.1% 64.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口 15,820	6,365	8,194	128.7%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道の普及により、浄化槽設置基数が減少したことが要因と考えられる。また、平成26年度からの消費税増税を受け、平成25年度の設置基数は増加したものの、長引く不況の影響による家屋の新築・改築や排水設備工事の減少も要因のひとつと考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成31年度まで

合併浄化槽の普及のため、市の広報誌及びホームページ等に浄化槽促進及び維持管理の徹底を掲載するなど循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽整備を実施する。また、「下水道の日」を行う下水道啓発活動に合わせ、ポスターの掲示等による合併処理浄化槽の仕組みや維持管理方法の周知を行い、合併処理浄化槽の設置を促していく。

(都道府県知事の所見)

大野市では既に新規計画（平成27～31年度）を策定して事業を実施しているところであり、上記改善計画を確実に実施することで、本交付金を活用した合併処理浄化槽の普及をより一層拡大させ、汚水衛生未処理人口の更なる解消に努められたい。